

アート教室・作品展覧会 開催

一般社団法人 CIS

〒165-0031 東京都中野区上鷲宮4-6-20 イカサビル2F

助成事業の概要

2024 年度末に児童の作品を展示する作品展覧会、3～11 月はそれに向けた制作活動（アート教室）を

- ・ 社会・地域と交流する機会の提供。
- ・ 多様な経験の機会の提供。
- ・ 作品づくりの楽しさ、達成感を共に味わう。

の三つの目的のもと開催いたしました。

3月～11月 アート教室の開催

上記の目的の他に、

- ・ 12月の作品展に向け、協力して物事を成し遂げる達成感を体験する。
- ・ 集団への参加する力・芸術に触れ豊かな人間性を育む。
- ・ 手先の巧緻性の向上を目指す。

の三つの目標を掲げ、月に一度、様々な外部講師を招いたアート教室を当施設内で開催いたしました。各月それぞれ違った児童、講師で多様な活動を行いました。（下記「事業の成果」参照）

12月 作品展覧会の開催

12/24～25 に練馬区立美術館、12/27～28 に coconeri 産業イベントスペースで space Kids 作品展覧会を開催いたしました。アート教室での作品の他に、普段のお預かりやイベントの中でのもの、夏休みに利用児童全体で行った巨大共同作品、弊社児童発達支援に通う児童の作品なども合わせ、計 100 点ほどを展示いたしました。

当日はたくさんの利用児童、またそのご家族

にお越しいただき、共に作品展覧会という行事を楽しむことができたかと思います。作品が展示されることで「自分の作品が飾られているのがうれしい」「作品を通じた思い出の共有ができる」といった、自己肯定感の向上や目標（作品展覧会）に向かってやり切った達成感につなげることができたのではないのでしょうか。

また、会場が地域の施設ということもあり、利用児童やそのご家族だけでなく、地域の方々にも多くお越しいただくことができ、全日合わせて 250 名を超える来場者数と盛況に終わることができました。

事業の成果

3月～11月 アート教室の開催

月に 1 度、様々な外部講師を招きアート教室を行いました。参加児童は希望・抽選制、都度異なるメンバー 4～5 人と共に制作活動を行いました。以下が各月の内容です。

3月：アニマルクロック（ぬいぐるみと時計を組み合わせたもの） 講師：大学生（東京家政大学）

4月：書道アート 講師：当施設職員

5月：野菜スタンプで絵葉書づくり
講師：当施設職員

6月：カラーソルトの瓶詰 講師：アトリエ講師

7月：影絵劇 講師：影絵劇団体メンバー

8月：カメラに挑戦 講師：プロカメラマン

9月：ステンシル染め（トートバッグ）
講師：大学生（女子美術大学）

絵画 講師：3DCG デザイナー

10月：木工作 講師：大学教授

11月：堆朱の箸づくり 講師：アトリエ講師

通常の預かりより少人数かつ落ち着いた環境で、児童一人一人が楽しみながらのびのびと創作活動に向き合うことができました。地域交流や多様な経験の機会を児童に提供するとともに、児童の「やりきる力」「互いを認め合う力」を伸ばすことができたかと思えます。

12月 作品展覧会の開催

12/24～25は練馬区立美術館、12/27～28はcoconeri産業イベントスペースでspace Kids作品展覧会を開催いたしました。上記のアート教室の作品だけでなく、普段のお預かりやイベントの中でのもの、夏休みに利用児童全体で行った巨大共同作品、弊社児童発達支援に通う児童の作品なども合わせ、計100点ほどを展示いたしました。

当日はたくさんの利用児童、またそのご家族にお越しいただき、共に作品展覧会という行事を楽しむことができたかと思えます。作品が展示されることで「自分の作品が飾られているのがうれしい」「作品を通じた思い出の共有ができる」といった、自己肯定感の向上や目標（作品展覧会）に向かってやり切った達成感につなげることができたのではないのでしょうか。

また、会場が地域の施設ということもあり、利用児童やそのご家族だけでなく、地域の方々にも多くお越しいただくことができ、全日合わせて250名を超える来場者数と盛況に終わることができました。

成果の広報・公表

これまで、作品展覧会に向けたアート教室につきましては隔月で保護者向けに発行しているお便

り「space Kids 通信」にて保護者の皆様に成果を公表してまいりました。このお便りの配布から「お便りを通じて子供がどのような活動をしているか知ることができてうれしい」といったお声をいただきましたため、12月に行われました作品展覧会当日の様子につきましても同じ形で保護者の皆様に公表いたします。（2月中に発行予定）児童への公表につきましては、保護者向けのお便りとは別に、写真と文章を組み合わせた児童が読んでわかりやすい形のお便りを作成し、施設内に掲示することで当日の様子を共有していく予定です。

また、作品展覧会で展示した映像作品につきましては、youtubeの限定公開にて保護者の方に公表しております。これを通じて、当日会場に足を運ぶことができなかったご家庭にもアート教室や作品展覧会の雰囲気を共有することができたのではないのでしょうか。

今後の展開

今回たくさんの利用児童・保護者にお越しいただいた中で、「このアート教室に参加したい」「こんなものもいいんじゃないか」という今後につながるご意見を多数いただきました。頂いたご意見を活かし、今後もイベントや日頃のお預かりでアートに触れる機会を作っていくことで、児童の成長を支援していきます。また、今回アート教室でご参加いただいた講師とも今後も不定期でイベントなどを開催し、児童に地域交流・多様な経験の機会の提供をしていきたいと計画しております。

さらに、2025年度のspace Kids carnival（＝当施設が毎年開催している年末行事の名称）では、地域のホールを貸し切り、外部の演奏団体と協力したミュージカルを発表する「音楽祭」を開催予定です。昨年度行った音楽祭とはまた形の違った新たな試みを、「人とのつながり」をテーマに児童たちと共に作り上げていきます。